

平成21年度 施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成21年7月16日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12210
政策名(章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当局	健康福祉局
基本施策名(節名)	第2節 市民健康づくりの推進	施策所管課	中央保健センター
施策名	自ら行う健康づくり	課長名	鈴木 豊子

1 施策の目的

すべての人々がすこやかでこころ豊かに生活できる活力ある都市を目指し、病気の早期発見や治療にととまらず、健康を増進し発病を予防することを重点に、個人・家庭・地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを進めるため、市民の健康増進に対する意識の高揚と自発的な健康づくり活動の支援にかかる事業を実施する。

2 施策の概要

- 健康増進事業は運動の知識や技術の習得をとおして、運動の基本を身に付け、運動習慣の定着を図るもの。
- 各種健康イベントは、気軽に取り組める健康づくりの方法などを、身近な地域で普及啓発するために開催するもの。

3 事業費

(単位:千円)

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	87,758	84,380	
人件費	56,441	54,255	
市民一人あたりの事業費(単位:円)	124	119	

* 年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

4 成果・活動指標

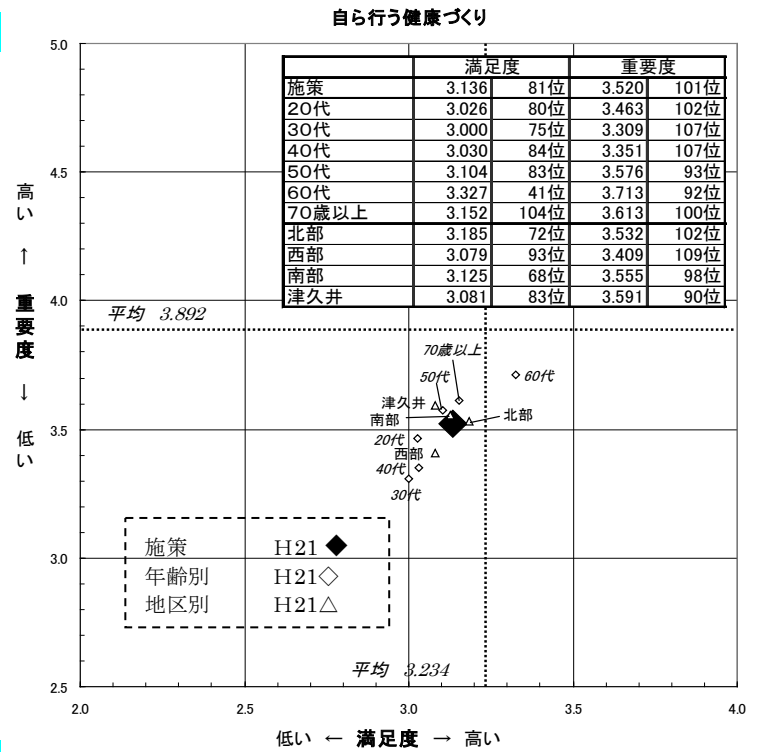
順位	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
2	指標1 行政と市民団体等が、連携して実施する健康づくりを推進するための事業への参加動員数の増加	市民団体等への各種委託事業(健康づくりイベント等)の合計参加動員数	合計参加動員数の前年度比3%アップ
1	指標2 健康増進事業の充実 60歳未満の参加者の体重の減少	健康増進事業のうち 運動プログラム作成時と運動定着コース終了日の体重を比較する。 体重が減少した人数/30~60歳未満の参加者数×100	さがみはら健康プラン21計画の適正体重を維持している人を増やす。H19年度調査では30~60歳未満の肥満者は21.8%であり15%以下とする数値目標がある
3	指標3 生活習慣病予防のために適正体重を維持している人の増加	20歳~60歳代の男性肥満の率及び40歳~60歳代の女性肥満の率	さがみはら健康プラン21計画の目標に近づける。男性26%を15%以下、女性17.9%を15%以下にする。
	指標4		
	指標5		

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:%)	H17	9,574.0	10,156.0	6,271.0	10,460.0	5,112.0	10,773.0		11,096.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		27,504 3.1	27,604	3.1	27,519	3.1				
指標2 (単位:%)	H19	34.8	34.8	34.8	37.0	64.1	40.0		43.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		31,049 2.1	31,049	2.1	28,769	1.8				
指標3 (単位:%)	H19	男:26.0 女:17.9	男:26.0 女:17.9	男:26.0 女:17.9					男:15.0 女:15.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)										
指標4 (単位:)										
総事業費・人員 (単位:千円・人)										
指標5 (単位:)										
総事業費・人員 (単位:千円・人)										

※指標3については、さがみはら健康プラン21計画(計画期間:H14~22年度)の市民生活習慣実態調査が平成13年(策定前年)、19年(中間評価)及び22年度以降の3回実施となっているため、H20・21の欄の目標値、実績値は記載し

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

○この施策の満足度は3.136で全119施策の中で81番目。
 ○重要度は3.52で101番目である。
 ○改善要望度は-0.194で92番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 2 ①	
合計		9		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ●メタボリックシンドロームの予防改善には運動不足解消が重要であるが、さがみはら健康プラン21の中間評価では、30歳～60歳未満(働き盛り)の男性の肥満者は30.3%と増加している。また、同年代の運動習慣を持つ人の割合も男女共全年齢に比し、低い傾向にある。 ●市民の健康づくりに役立つ様々な情報を提供するため、各種健康イベントを実施しているものの、参加動員数が減少している。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な運動習慣が定着するよう働き盛り層である職域等への事業PRを積極的に行う。また、メタボリックシンドロームの予防に向け、より若い世代から体を動かすことを生活の中に取り入れ健康的な減量ができるよう現行の対象者の拡大を21年度から実施した。(対象年齢を30歳以上から20歳以上に変更した。) ●健康イベントを始め、複数のイベントが同日開催や相互PR、連携事業などを効果的に実施することによって、参加動員数の増加を図る。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向